

2024年度 事業報告書

2024年4月 1日から

2025年3月31日まで

学校法人 豊中キリスト教会学園

1. 法人の概要

名 称 学校法人 豊中キリスト教会学園（1989年4月1日法人設立）

代表者 理事長 山崎 壘偉

住 所 豊中市末広町1丁目2番28号

電 話 06-6853-9677

FAX 06-6853-9687

設置する学校

住 所 豊中市末広町1丁目2番28号

名 称 幼保連携型認定こども園 豊中愛光幼稚園

役 員

理 事 6名

監 事 2名

評議員 13名

理事会 5回開催

評議員会 3回開催

職 員 28名

2. 事業概要

（ 認定こども園 豊中愛光幼稚園 ）

《教育方針》

キリスト教精神に基づき、自由遊びを中心とした保育を進める。主体性と社会性、創造性と責任感を持った心身ともの調和のとれたこどもに成長するよう導く。

《教育内容》

遊び込みと異年齢保育によるこどもたちのつながりの中から、自由に育ち、自由な発想と自ら考えて決める喜び、そして協調性を楽しむ心、神を愛し、人を愛し、自分を愛するこどもに育つように、安全できめ細かい保育と環境作りを行う。

《園児数》

1・2号こども

	3歳児		4歳児		5歳児		クラス数計	園児数計
	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数		
利用定員	1	23	1	22	1	22	3	67
2022年度	1	21	1	26	1	26	3	73
2023年度	1	22	1	19	1	25	3	66
2024年度	1	25	1	23	1	19	3	67

3号こども

	0歳児		1歳児		2歳児		クラス数計	園児数計
	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数		
利用定員	1	3	1	10	1	10	3	23
2022年度	1	3	1	10	1	12	3	25
2023年度	1	3	1	10	1	10	3	23
2024年度	1	3	1	10	1	12	3	25

《保育時間及び延長保育》

教育標準時間

1号認定こども

保育時間 午前9時～午後2時 月曜日～金曜日 土・日曜日休園日

延長時間 午前8時～午前9時、午後2時～午後6時

2号認定こども・3号認定こども

標準保育時間 午前7時～午後6時 月曜日～土曜日

延長保育 午後6時～午後7時

短時間保育 午前9時～午後5時

延長保育 午前7時～午前9時、午後5時～午後7時 月曜日～土曜日

《納付金》

保育料 市町村の納付税に応じて。豊中市等市町村が定めた額。

特定保育料 3歳以上クラスの入園者は、施設設備充実費として納入する。
 2024年度入園・転入園 4,000円×12ヶ月(48,000円)
 2023年度入園・転入園 3,000円×12ヶ月(36,000円)
 2022年度入園・転入園 2,000円×10ヶ月(20,000円)

《入園時の費用》

事務手数料(1号こども) 5,000円

《上乗せ徴収》

項目	金額	備考
給食費(1号こども)	月額 4,500円	
給食費(2号こども)	月額 6,500円 月額 6,000円 1回 300円	就労中 産休・育児休暇中 土曜保育利用時
絵本代	月額 420円	
入園児用品代	17,900円 5,660円	1号こども・2号こども 3号こども
遠足費	交通費等必要経費実費相当	
卒園積立金	月額 500円	年長児のみ
卒園アルバム代	月額 1,500円	年長児のみ
預かり保育	2時間 300円	1号こども
延長保育	1時間 200円	2号こども・3号こども

《預り保育の内容》

月～金曜日 午後2時～午後6時 夏冬春休み中の預かりも実施。

《行事実予定》

春(4月) 入園式、進級式、春の日礼拝、花の日、春の遠足

夏 水あそび、夏期保育、デイキャンプ

秋 秋の遠足、かがやけひかりのこどもたち!(運動会)、秋の実り礼拝

冬 クリスマス礼拝と祝会、お餅つき、芸術鑑賞会、お店屋さんごっこ

春（3月） 春の訪れを喜ぶ会（ひなまつり）、お別れ会、修了式、卒園式

毎月 誕生会、避難訓練

毎週月曜日 特別礼拝日

《施設関係》

敷地面積 763.90m² 運動場面積 402.95m²

園舎面積 539.89m² 構造 RC構造

耐震工事 2014年3月に工事完了

《設備関係》

防犯で求められる設備の整備、災害時を想定した備品類の整備

《計画内容》

創立100周年を迎えた感謝の一年であった。園の教育・保育の柱となるキリスト教保育の実践の充実のため、また、近年の社会変動に伴う課題や加速する少子化状況の中で、当園では特徴となる異年齢保育、チーム協働、子育て支援などの充実化と質の向上として5項目(教育・保育環境の改善、働きやすい職場環境の構築、子育て支援事業の実施、100周年事業の準備と実施)をあげて取り組んだ。

1. 教職員の教育・保育力の向上

園内研修や様々な外部研修に参加した。また、創立100周年を迎え、キリスト教保育の実践を教職員一人ひとりが理解を深める時間を意識してもらった。

2. 教育・保育環境の改善

教職員の働きにより、異年齢保育の充実した保育実践を更に積み重ねることができた。今後も、一人ひとりのこどもたちの「今」の姿をとらえて見通しを持って、必要な教育・保育活動の改善に努めていきたい。また、小学校生活への接続連携については、小学校との交流を目標に互いに訪問し合う場の設定は行ったが、積極的に取り組めたとはいいいがたい状況となった。引き続き関係構築に努めていきたいと考える。

安全性におけるハード面の改善は必要に応じて今後も継続して進めていく。

3. 働きやすい職場環境の整備

育児休暇、及び年次休暇の取得のための協力し合った教職員間の関係構築は、感謝すべきこととしてお互いを尊重し協力し合っている。お互いが育ち合う関係性の構築や役割分担を相談し合うように努めて、これからも尊敬し合っていく関係性継続と同時に、一人ひとりの「らしさ」を発揮できる意識改革に努めていきたい。また、保育の充実をはかるための外部からの視点となる実習生やアルバイトなどの存在も大きい。これら互いの学びの体験を今後の開かれた園づくりにつながるように励みたい。

デジタル化(ITC)の推進と効果的な運用面では、あらたな取組としてInstagramを開設した。

4. 計画性を持った子育て支援の実現

少子化が急激に進んでいる中で、「満3歳児保育」や「どこでも誰でも通園制度」など、保護者が孤立せずに子育てを楽しめる環境を提供することが求められている。低年齢児からの教育・保育施設の需要が求められている現状の中で、当園で実施しているキンダーカウンセラーは、重要な子育て支援の場のひとつとなっている。また、保護者主体のP.T.A.活動や隣接の豊中教会との関わりは、対外的に可視化されにくいものではあるが、園の教育・保育活動の支えとなり、地域に開かれた取り組みの一端を担っている。引き続き、当園で実現可能な具体的な子育て支援の場や内容のあり方を考えながら、保護者が子育てを楽しめる環境と安心して子どもたちが通える園運営を工夫していきたい。

5. 100周年事業の準備と実施

『「ひかりのこ」のあゆみ～昔、今、そして未来へ～』というテーマで、4事業計画(1.日常を大切にすること、2.6月29日(土)に記念礼拝とオープンカフェの開催、3.園庭創り、4.記念誌と絵本作成)を準備し、お祝いの時を過ごした。この取り組みは、教職員が園の理念(神さまの愛とイエスさまの姿にならって一人ひとりの子どもたちを大切にするキリスト教保育の理解と、その中で愛されて育まれてきた子どもたちの成長が未来につながることを)を再確認する大切な時間となって流れた。また、6月29日(土)に開催した創立100周年記念礼拝とOpenCafé『サロン・ド・愛光』では、多くの人の愛と支えがあり、100年の時を刻んできたことを実感する催しとなった。

次の100年に向かう取り組みとして『園庭創り』の事業計画は、寄附を募ることからはじめたが、さまざまな人たちからのご支援と応援をいただくことができ、感謝の思い溢れる大きな経験だった。これから数年かけて、あらたに、子どもたちの未来への礎となるさまざまな出会いと探求心が広がる経験と創造の場を検討している。子どもとおとなのよりよい場づくりを考え、新しい園庭創りに挑戦を続けていくこと、その他の100周年につながる事業や記念誌作成などひとつずつ進めていこうとしている。

《収支予算》

別紙